

## ギフトショー春2013

出展

ACTIVE KUMIAI

## 富士吉田織物協同組合



ギフトショー出展の様子

2月6日(水)から8日(金)にかけて、東京ビッグサイトにおいて、第75回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2013が開催され、郡内の織物関係では、富士吉田織物協同組合(勝俣明美理事長)の4企業をはじめ、西桂織物工業協同組合の榎田商店、農工商連携などの取り組みを行っているフジチギラが出展した。

富士吉田織物協は今回のギフトショーで初めて、シヨップバイヤー等の小売業をターゲットとしたトレンド志向の強いメーカーが多く出展する「フアブリックデコレーションフェア」のブースに出展し、たくさんの注目を集めた。

自社製品の製造、販売に力を注いでいるメーカー4社も出展した。前田源商店は、オーガニックコットンを使用した自社ブランド「KAIS FIRM」を展示。田辺織物は、若手デザイナーによる、現代のライフスタイルに合わせたオリジナル座布団ブランドの「COCIOROSO」、光織物は、産学官共同開発企画から生まれた「kichijitu」ブランドを展示。舟久保織物は、昨年サンプル出展し好評であった自社ブランド「harefunel」を今年はバイヤーの要望に即時対応できるような生産体制を整え、展示した。

本県の織物産業は縮小傾向が続いているが、産地が従来行ってきた商流であるOEMの形態から脱却し、小回りが効くという中小企業の強みを発揮した自社ブランドの比率を高めようという機運が盛り上がりつつある。



出展を視察する勝俣理事長